

# AJU愛実

編集：特定非営利活動法人愛実の会

- ・愛実の会事務所
- ・居宅介護事業所あみ
- ・生活介護事業所障がい者デイセンター愛実  
(大地の家／紙風船)

## 第51号 会報

定価：一部100円

福祉の創造 寄り添い合うこと/理事長 戸田 真二	P1
名古屋ワイズメンズクラブ クリスマスキャロル他	P2
成人のお祝い/障がい者デイセンター愛実 管理者 竹内 秀剛	P3
居宅介護事業所 あみ	P4
大地の家 (生活介護)	P5～P6
紙風船 (生活介護)	P7～P8
ジョラさんと「屋根の上のヴァイオリン弾き」/島 しづ子	P9
寄付者名簿	P10



紙風船公演  
熱田文化小劇場にて



## 福祉の創造 寄り添い合うこと

理事長 戸田 真二

愛実の会では、メンバーたちに寄り添うのが私たちの仕事ですと、理念を伝えながらアシスタントに話をします。しかし、寄り添うことがどういうことなのかには、主観的な捉え方になってしまい、多くのアシスタントはメンバーとの接し方や関係づくりにいつも苦心している様子が伺えます。反応がなく、なかなか答えが見出せない。これでいいのか？喜んでもらえているだろうか？自己満足になってはいないか？等、自信をもって「寄り添うこと」を具体的に語ることはとても難しいのです。紙風船のテーマソング『風を下さい』の2番の冒頭の歌詞を紹介します。

### ♪ 胸の内を伝えるのはとても勇気がいるね だけど言いたいことが言えないのはもっと苦しいから～

この曲のフレーズは、メンバーの思いをひとつひとつくみ取りながら、シンガーソングライターの間島秀樹さんが紙風船のために作ってくれたものです。この歌詞から何が創造できるのでしょうか。言いたいことが言える人もいます。しかし歌詞の持つ意味からメンバーたちがいったいどれだけ自分の思いを表現できているのだろうかと悩むのです。自分の思いを伝えるのにとても時間のかかるメンバーもいます。待つという忍耐が必要です。ちゃんと聴いてもらえるか。思いをわかってもらえるか。伝えることはメンバーたちにとって私たちの何倍もの勇気がいる作業なのです。

私は表現が苦手なメンバーにはできるだけ選択肢を作り、本人の理解度に合わせ、工夫しながら選んでもらうことを心がけています。してほしいこと、やりたいこと。食べたい物やお出かけの場所だったり、グループ分けなど、様々な場面で選択する機会があります。グループ分けは本人の希望でうまく作れない時は、みんなで話し合っ調整したり、確認をとって決めます。ある時、遠足の行先のグループ分けでAさんに3つの場所から1つ選んでと丁寧に説明をしました。ところがAさんの答えは3つの選択の中にはなく、4つ目の希望を出してきたのです。その答えは私の中の想定外でした。選択肢はどれを選んでもいいようにあらかじめみんなの希望を聞き準備して作られたものなのです。私たちは本人が選ぶこと、自分で決めることを自律として大切にしていたつもりでした。しかし、そうではなく4つ目の選択肢があるということを知ったのです。用意された選択の中から選ばないことは、わがままであるとも思えます。しかし、そうではなく「風を下さい」の歌詞の本当の意味がここにあることが分かりました。すべてが自分の思った通りにはならなくとも、自分の思いが言えた。伝えられた。聴いてもらえたことに大きな意味があるのだと思いました。私はそれからAさんとの関係が少し変わったように感じ、自分の思いを表現してくれたことは、私にとっても大きな喜びとなり、メンバーの心の内を聴くようになりました。

Aさんのある年の抱負には「今を生きる」とありました。今、目の前にある出来事を楽しみ、〇〇さんと一緒にいるこの瞬間、今日の日を大切にしたいという、ポジティブな思いを感じることが出来ます。その後、Aさんの希望は次の機会に見事に実現することができたのです。私も一緒に参加して本当に楽しい思い出となりました。この出来事は、寄り添うことは決して一方通行な関係ではなく、共感し、心が動き、互いに寄り添い合うことなんだと教えられました。この時、精一杯生きているメンバーたちと共に、「今を生きる」ことを大いに楽しみたいと思います。

## 名古屋ワイズメンズクラブ

## クリスマスキャロル



12月25日、名古屋ワイズメンズクラブの皆様が、素敵な演奏会をプレゼントして下さいました。

一昨年はコロナのためリモート交流でした。でも今回は「窓越し」ではありましたが、

2年ぶりに対面することができました。クリスマスソングを皆でいっぱい歌いました。また、シチューなど美味しい昼食も作って頂きました。このような機会を作って下さったワイズメンズクラブの皆様、本当にありがとうございました。

いつかコロナも落ち着き、窓ガラス越しではない対面をしたいものです。コロナさえなければ、という切ない思いもありますが、これも大切なものは何かを思い起こすものとなるのでしょうか。ピンチはチャンス。前向きに進む力を頂きました！



- ・おめでとうクリスマス
- ・まきびとひつじを
- ・ハレルヤ
- ・リジョイス
- ・サンタが街にやってくる
- ・きよしこの夜



## シェアハウス構想の具体化

コロナ禍で2年が過ぎようとしています。しばらくこの時を耐え忍び、来る明日を待ち望んで来ました。シェアハウスの構想から2年、何も手つかず先が見えない日々が続いていましたが、メンバーの地域生活支援は待たなしで、年々深刻になっています。いよいよ時が来たと、今春より一歩前進することになりました。愛実の会では、親亡き後もメンバーが安心して地域生活を送ることができる住まいの場のひとつとしてシェアハウスを提唱して来ました。それぞれの過ごしたいスタイルを重んじ、施設ではなく普通の家で、普通の暮らしを支援していくことを目指しています。始めは2~3人の気の合う仲間からできる範囲で、できるかたちで始めてみようというのが現段階の状況です。特に障がいの重いメンバーの生活支援には24時間のサポートが必要となり、同時に多くのマンパワーが必要となります。住居の確保、支援体制そして資金作りと見えてくる課題に真摯に取り組み、このシェアハウスが先駆的なモデルとなることを期待しています。また、シェアハウスがスタートしましたら具体的な将来構想を立てて行きます。どうぞ今後、支援の輪を更に広げ、より一層のご支援を宜しくお願い致します。



障がい者デイセンター愛実 管理者 竹内秀剛

愛実の会では今年度3名のメンバーが新成人となりました。

例年であれば外のレストランを借りて食事会をしたり、デイセンターに集まりみんなで賑やかに  
お祝いをしていました。

昨年も成人を迎えられたメンバーがいましたが、コロナ禍の折みんなで集まってのお祝い会の  
開催を断念しました。

今年度は、大地の家、紙風船のそれぞれに別れ、規模を縮小して開催しました。

集まる人数は少なくなったものの、紙風船ではアンスタントが寸劇をしたり、大地の家では歌を  
歌ったり…華やかさは少なかったかもしれませんが、皆で一生懸命考え、企画した会でした。

また、成人を迎えた本人のみならず、ご家族にもお話を聞くことができました。

どんな障がいがあっても人として成長し続けることができるんだという思いや、幼いころに大変  
だったこと、それを乗り越えてきたお気持ちなどを聞き、メンバーのみならずご家族の歴史にも  
少し触れることができました。

また今回、それぞれのメンバーの生い立ちの動画を作成しました。

動画の作成に当たり、何度もメンバーの写真を見る中で、  
それぞれが持つ魅力や個性を再発見したように思います。

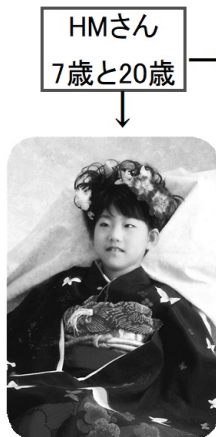
これからの人生を共にできることをとても嬉しく思い、  
その思いを皆で共有した会となりました。



THさん  
1歳と20歳



WRさん  
8歳と20歳



HMさん  
7歳と20歳



# 居宅介護事業所あみ

## しわが気になる…



サービス提供責任者 齊藤美佐子

普段から気になるのですが、冬に特に気になるのが「しわ！」

しわというとドキッとする、お年頃の方々がたくさんみえると思いますが、私の気になるしわは衣服のしわです。私が愛実の会に入職した時に、あるアシスタントから前理事長のこだわりのひとつとして、「ドアレールのごみと、服のしわをSさんは時に気にするから…」と教えてもらいました。

愛実の会で働き始めてから10年以上。今では私のこだわりになるのでは？と思うほど、衣服のしわが気になるのです。気になるのは上衣だけでなく、車椅子に座った時のズボンの縫い目の位置やしわがよってないかが超～気になる！

冬は特に体が硬く衣服の着脱は容易ではないと知っています。着せただけではしわしわ脇きゅ！しわの部分のままにすると、あかぎれのようになってたり、血液の循環が悪くなったりと良いことはありません。着せるだけが更衣介助ではありません。ほんの少しだけ着せてもらう人の気持ちになり、しわを直してあげてください。介助される側、介助する側も気持ち良いですよ♪。



着せただけ  
左脇しわきゅ

着心地よくと  
思い更衣介助

## 推しのいる生活



石川美紗代

2020年の7月から産休・育休を頂き、2021年4月に復帰しました。

お休みをいただいていた時期は、コロナウイルスの感染が拡大し緊急事態宣言が出たり、子供の学校もお休みになるなど、TVをつけると同じ話題の繰り返し。

毎年好きなアーティストのLIVEを見に行くのが私の楽しみなのですが、出産前に行く予定だったLIVEもコロナウイルスの影響で中止に。外出をすることも気軽にできず、なんだか鬱々とした日々でした。

そんな時に見た音楽番組に、世界で活躍する韓国のアイドルグループが出ていました。歌が気に入ったのと、メンバーの一人が、日本の俳優さんに似ているなあと思いネットで調べてみると、ファンの人が作った紹介動画が上がってきました。その動画がファンの人の愛あるツッコミにあふれていてとても面白く、フフと笑いながらつつい次から次に関連動画を見てしまい、気が付いたらすっかり沼にハマってしまっていました。練習動画などを見て、自分より若い子たちが頑張っている姿に元気をもらい、自分も頑張らなきゃ！と刺激をもらっています。

また、韓国の食べ物を買ってみたり、レシピを調べて作ってみたり。ハングルが分からない…と調べてみたり。推しができたことがきっかけで、気が付いたら家に閉じこもって狭くなっていた自分の興味が少し外に向かって広がっていました。

今は子供たちも巻き込んで動画を見て楽しんでます。 ”好き”のパワーはすごい。推しのいる生活、おすすめです。





# 大地の家

11月-3月

## 春うらら

今年の冬は寒く、雪が多かったように思います。大地の家では、毎日室内で活発に活動していましたが、3月のはじめに春先の陽気に誘われてみんなで散歩に出かけました。

普段は何気なく散歩をしています。冬の間を訪れなかった公園にはあちらこちらに春の気配がやってきました。みんなでのんびりと散歩をし、地域のボランティアの方々が育てている花や公園にやってきた鳥を見て過ごしました。公園には蕾が大きくなった木々もありました。

うらかな日にみんなで他愛のない会話をしながら、ゆったりと過ごすことで、少し早い春を感じられたように思います。メンバーもアシスタントも室内にいる時とは違う笑みが自然とこぼれていました。

いつもは何かしらのプログラム(活動)をしなければ…とっていますが、たまにはみんなで春を満喫すべくゆっくりと過ごすことも良いなと思いました。また機会を見つけて、みんなでのんびりと散歩を満喫したいと思います。



前号に引き続き、日々元気に活躍中の大地の家のアシスタントの「思い」を紹介いたします！

## みかけによらず



上野宗弘 大地の家生活支援員

私は7年程前に心の病にかかりました。当時通った病院の先生の話では、9年前に亡くなった母の事と仕事が原因ではないかと言われました。

当時の仕事は、簡単な作業を一人で任され同じ事を繰り返す仕事でした。グループでコミュニケーションを取りながら出来る仕事が良いのでは?と先生から助言を受けました。その助言を受け、母が入院中に身の回りのお世話をしてくれていたヘルパーさんを見て、自分もこんな仕事をしたいと興味を持ったことを思い出しました。

その後数ヶ月して、妻にも相談して、愛実の会の求人を見つけて応募しました。スーツを着て面接を受け、採用して頂ける事が決まりとても嬉しかったことを覚えています。仕事に就いて間もなく面接の時に私を見た方が「怖い人が来た」と思われていたと聞きました。今でもそうなのかな?…。


大地の家のメンバーもコミュニケーションを取らずに表面だけ見ればいろんな見方が出来ると思いますが、人はみかけによらないと思います。重度の身体障がいと知的障がいを抱えても、朝の挨拶をしてくれたり、楽しそうに笑顔を見せてくれたり、照れて顔を隠したりと色々な内面を持っていると思います。

私自身、家族、大地の家のメンバー、アシスタントに支えられて現在に至っています。メンバーの思いの汲み取りを少しでも支えることができれば幸いです。



↑ クリスマスのゲーム

## 私の原点

 太田弘美 大地の家生活支援員

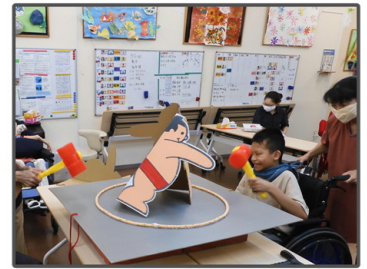
私には生まれつき重い障がいを持った二つ違いの妹がいました。

当時は今のような法制度ではなく、利用できる福祉サービスも無かったので、何をするにも何処へ行くにも母と二人、二人三脚で妹を支えていました。物心ついた頃から誰に言われるでもなく「私が一生面倒見ていく」と心に決めていました。

転機が訪れたのは、福祉大学ボランティアサークルの方々との出会いでした。思春期を迎えた妹の良き相談相手になってくださったたり、街へ連れ出してくださったりと、障がいにとらわれず年相応の一人の人間として関わってもらえたことで行動範囲や経験が大きく広がりました。ショッピング、カフェ、コンサート、学園祭、旅行…と、家族が思いつかないような体験もできていたようです。病のため23歳という若さで他界してしまいましたが、たくさんの方々に支えられ多くのことを経験し、短くてもギュッと凝縮された中身の濃い人生だったことと思います。


どんなに障がいが重くても、関わる人の思いや関わり方でこんなにも輝くことができるのなら、今度は私が関わる立場、支える立場になりたいと思いました。妹が生きる姿を通して教えてくれたことを、形にして返していきたい。その思いを胸に障がい福祉の世界に飛び込んで11年が経ちました。

まだまだ試行錯誤の連続で、メンバーに教えられること、助けられることの方が多い日々ですが、メンバーの新しい経験が一つでも多く増え、心動く体験を重ねることができるよう頑張りたいと思います。



↑ 企画した紙相撲の様子

## メンバーと共に過ごして知ったこと

 波佐谷俊介 大地の家生活支援員

私が大地の家で働き始めてもうすぐ2年になります。

それまで介護の仕事の経験がなかったのですが、仕事を始める前、障がいのある方のお世話、お手伝いをするんだということを漠然と考えていたように思います。

大地の家に通うメンバーは重度の身体障がいと知的障がいを抱えています。

実際にメンバーと関わり一緒に過ごす中で、私の障がい者に対する先入観や思い込みがいかに多かったかを知りました。

私が棚に物をしまっていると隣に来て一緒に手伝ってくれるメンバー、私が隣でノートを書いていると私の体をトントンと叩いて話をしたがるメンバー、私が頼みごとをするとまず断ってから悪戯っぽく笑うメンバー。

当たり前のことなのですが、一人一人が性格も好きなものも嫌いなものも違うということ、大地の家に来て初めて体感したように思います。

さらに、活発に声や表情で意思を表現することが得意な人もいれば、手の動きや目線で何とか意思を伝えようとしてくれる人もいます。

メンバー一人一人が何を伝えたいのか、どういう気持ちでいるのかを毎回汲み取ることはまだまだ出来ていませんが、そう出来るように意識しながら日々関わっていきたく思います。



↑ 五目並べの活動を企画



# 紙風船のページ



## 2年ぶりの公演～夢をあきらめない～

2021年12月21日、コロナ禍により中止が続いていた人形劇の公演をやっとなることができました。ほぼ2年ぶりの公演です。

「名古屋キリスト教社会館発達センターあつた」様からの依頼で、紙風船からほど近い熱田文化小劇場にて行われました。感染状況が少し落ち着いていたとはいえ、ギリギリまで開催が危ぶまれる中、無事に当日を迎えることができました。

今回が初めての舞台となるメンバーがいました。稽古の場や普段の会話で公演の雰囲気について話はしていますが、実感がなかなか持てず、不安な気持ちもありました。それでも「公演を家族や多くの人にみてもらいたい」という想いを紙風船に入ってから自分の目標として、今までがんばって稽古を積んできたのです。

そして迎えた本番。当日は会場も念入りの感染予防対策をして迎えてくださいました。メンバーもアシスタントも久しぶりの”舞台”に少々緊張気味。また初めてマスクやマウスシールドを装着して舞台上ということもあり、メンバーには今までとは違う緊張や心の負担もあったと思います。しかし会場のお客さんとのやり取りの中で、次第にペースをつかむことができ、みんな堂々と最後まで人形劇「ボーちゃん」を演じ切りました。

公演後には、「何がなんだか分からなかったけど楽しかった!」「あっという間だった」「公演って楽しい!」などの感想が出され、どの顔もみんな充実感にあふれていました。

私たち紙風船は、これからも大勢のお客さんの前で人形劇を演じ、観てくださった方に笑顔になっていただくという夢を持ち続けながら活動していきたいと思っています。



ハンバーガーランチ  
できました!



お手紙で一す





## 紙風船グッズ紹介

人形劇団紙風船では、これまでも人形劇キャラクターの缶バッジや絵はがきなどを、物販グッズとして主に人形劇の公演時に販売をしてきました。しかし、新型コロナウイルス感染症の蔓延により公演活動がすべて中止となり、会場での販売も不可能になった為、新たなグッズの販売方法を模索してきました。現在は、グッズの種類を増やし、ネット販売にも力を入れ、缶バッジの他に、咳エチケットグッズやぬりえシリーズ、ステッカーなどを作っています。どれも担当メンバーでアイデアを出し合い、わいわい楽しくみんなで取り組むことができます。グッズの販売益は、人形劇の活動資金として用いさせていただきます。どうぞ今後も変わらぬご支援をよろしくお願いいたします。各種グッズは紙風船のホームページより購入が出来ます。ぜひご覧ください。



ポントぬりえ

人形劇団 オリジナル **紙風船** **新発売** **咳エチケットキーホルダー**

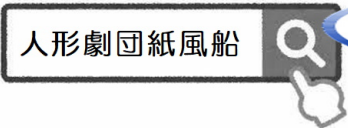
花粉症、喘息、肌が弱いです、の3種類！

花粉症	喘息	肌が弱い

## 🎵 サークル紹介～火・金曜サークル～ 🎵

前回の会報では水曜日サークルの活動についてお知らせしましたが、紙風船には火曜日と金曜日にもサークル活動を続けているメンバーがいます。どちらも、メンバーがやりたいことを話し合い、その日は一日楽しく過ごせるような時間にしています。火曜日のメンバーはゲーム好きが多く、よくパソコンを使ったゲームを行っています。紙風船で始まった新しい活動「eスポーツ」にも繋がっていくと思われます。

一方金曜サークルのメンバーはとにかく音楽好き。ミュージシャンのライブ映像を観たりまた午後にはカラオケをして楽しんでいます。ご紹介しました紙風船のサークル活動ですが、メンバーの息抜きの場として始まったのが最初です。これからも月一度ですが少しでも心の豊さにつながるような内容を模索し、続けていきたいと思っています。



日々の取組みやグッズ紹介・販売など詳しくは

## ジョラさんと「屋根の上のヴァイオリン弾き」

島 しづ子

ドイツ・マルデブルグ交響楽団のチェロ奏者ジョラさんとフルート奏者古賀敦子さんが、2014年から2019年まで、毎年名古屋に来て、チャリティーコンサートをして下さいました。滞在中、愛実の会にも来て下さいました。最初の訪問は2014年6月4日でした。紙風船が歓迎の看板を用意しました。看板にはウクライナとロシア、ドイツ、日本の国旗が張られ、歓迎の言葉が書かれていました。ジョラさんがウクライナ出身なのでウクライナの旗を描いたのでしょう。その少し前に、ロシアがウクライナ包囲網を謀り、軍事衝突があった時期でしたから、紙風船の仲間はロシアとウクライナが仲よくするようと思って、ロシアの国旗も描いたのだと想像します。が、ジョラさんはさりげなくロシアの旗を隠しました。「あれ？」と思っただけでしたが、今朝(2022年2月25日)ロシアがウクライナへの侵攻を始めたとの衝撃的なニュースに、ウクライナ出身のジョラさんの心中を思いました。今回のウクライナ侵攻によって、大国ロシアがウクライナを支配下に置きたいとの意図がはっきりしました。最近ジョラさんは親戚の葬儀のために、ウクライナのオデッサに帰国中でした。一時は安全にドイツに戻れるか心配しましたが、ありがたいことにご無事なようです。

ミュージカルが好きな人は「屋根の上のヴァイオリン弾き」を観たことがあるでしょう。原作はショーレム・アレイヘムによる「牛乳屋テヴィエ」です。ショーレムはウクライナ出身で1859年に生まれ1916年に亡くなっています。本名はソロモン・ラビノヴィッツというユダヤ人です。オデッサ、キエフで活躍しました。「屋根の上のヴァイオリン弾き」はユダヤ教の伝統を守りたい父親と時代の変化に合わせて生きて行く娘たちを描きます。つつましく暮らした人々が、ユダヤ人迫害によって村を追われます。深刻な内容ですが、終始笑いが溢れ、ロングランを続けたそうです。題名になっている「屋根の上のヴァイオリン弾き」から思い出すのは、シャガールが描いた「屋根の上のヴァイオリン弾き」です。そのひとつの絵にこういう描写があります。画面中央に、屋根に片足を乗せてヴァイオリンを弾く人が描かれています。教会の塔が二つ見えます。雪道の奥に家が並んでいます。空には天使が逃げ惑っている様子。雪道に右から四個の足跡が家に向かっています。家から左に出て来た足跡は二つ。その一つは赤い足跡です。あたかも人を殺した者が血の付いた靴で歩いたと思わせます。不安定な状態でヴァイオリンを弾く姿は、どんな境遇であっても平穏な気持ちで生きようという、ユダヤ人の教えのようです。シャガールはさりげなく、迫害を生きざるを得なかった民族の悲しみを描いています。ジョラさんの祖国ウクライナを思いながら、戦争の度に生活を根こそぎ奪われる人たちがいることを思います。ジョラさんのチェロの深みは、複雑な歴史を生き抜いてきた、また生きている人のことを想起させます。

シャガールが晩年を過ごしたフランスのヴァンスに近いコートダジュール(紺碧海岸)と、沖縄の海はよく似ています。3月17日から21日まで那覇市で開く「第二回島しづ子作品展」のために40点の作品を用意しました。部屋の中はブルーの絵画で埋まっています。沖縄の美しい景色にも悲しみを感ずります。ウクライナ国旗のブルーは空の色、黄色は麦の色とのことです。ウクライナのために、またロシアで戦争に反対している人々のために祈りたいと思います。



【NPO愛実の会寄付者名(敬称略・順不同) 2021年11月1日～2022年2月28日】

★寄付金

武井 陽一	渡辺 真悟	増田 真大	塚田 正昭
真木 芳子	曹 誉戸	崔 浅子	山中 高
鈴木 顕造	風間 文子	佐藤 全弘	伊藤 裕子
足立 克己	島 耕一	阿部 健二	伊藤 あつ子
間瀬 滝子	楽 有紀美	五十嵐 靖	成瀬 絵里子
岩田 妙	川口 耕平	藤本 真美	藤澤 深根子
義井 裕子	加藤 久雄	瀬口 昭代	持田 由美子
野崎 典子	榛葉 英子	木村 慎吾	吉丸 あさ子
伊藤 久子	石原 艶子	宮崎 正和	丸山 恵津子
比企 敦子	谷野 順子	水野 享好	矢口 由美子
柴田 京子	金田 好美	宮川 昭明	吉田 真喜子
梅村 亜恵	水戸 潔	坂田 昌子	伊藤 まり子
井上 晶子	矢澤 綾子	野村 裕子	加藤 由美子
近藤 洋	下村 徹嗣	桂 正枝	加藤 真規子
渡部 千枝	三輪 玲子	伊藤 秀章	津田 加代子
西村 牧子	堤 肇	森田 猛	榊原 喜代子
小松 康宏	伊藤 操	河内 常勇	佐藤 千萬子
竹田 朋子	尾関 静枝	岡本 亜子	榎本 久美江
柏木 實	池上 讓治	楠本 啓子	三和田 良子
江崎 敬子	戸田 真二		
吉谷 尚之(複数回)	住田貞次(複数回)		
市原 信太郎・誉子	中山 成一郎・久美子	加藤 明宏・朱美	
細川 拓・美代子	佐藤 正幸・純子		
教団)豊山教会	教団)中京教会	教団)刈谷教会	教団)各務原教会
教団)鳴海教会	教団)広路教会	教団)坂下教会	教団)御器所教会
教団)豊田教会	教団)豊明新生教会	教団)名古屋新生教会	
教団)金城教会社会福祉委員会		教団)岡崎茨坪伝道所	
日本キリスト改革派八事教会		日本キリスト改革派金沢教会	
在日大韓基督教会小倉教会		在日大韓基督教会豊橋教会	
在日大韓基督教大阪教会女性会		京都みぎわキリスト教会	
日本福音ルーテル復活教会		名古屋ワイズメンズクラブ	
一般財団法人平塚YWCA		公益財団法人名古屋YWCA	
南山幼稚園	済美高等学校	笹島人権センター	
浜松聖書集會	捜真学院		



## ★紙風船夢づくり

牧野 雅樹	佐田 秀子	小川 弘樹	岸野 奈奈子
後藤 宣彦	宮原 祐子	辻 多加子	牧野 みゆき
田中 孝子	矢澤 綾子	堀池 育志	河合 みち子
板倉 美恵子	川口 いづみ		

名古屋キリスト教社会館発達センターあつた

愛実の会の活動、紙風船夢づくりのために多くの方々より寄付金を多数お寄せくださ  
いましてありがとうございます。

### 事務局からのお知らせ

平素より愛実の会の活動のために多くの方の温かいご支援、ご協力に心より感謝申し  
上げます。現在寄付金目標額200万円に対して、約170万円です。新年度には新しい試  
みも始まろうとしています。メンバーが安心して生活ができるように、私たちにできることを  
考えながら取り組んでいます。何卒ご協力をお願い致します。

愛実の会の詳しい活動については、ホームページにて掲載しております。是非、ご覧く  
ださい。

## 【所在地・連絡先】

### 特定非営利活動（NPO）法人 愛実の会

□ 居宅介護事業所あみ（ホームヘルプ）  
〒455-0021 名古屋市港区木場町9番地の24  
TEL：052-693-7645 FAX：052-746-2639  
□ 障がい者デイセンター愛実（生活介護）  
〒455-0021 名古屋市港区木場町9番地の24  
TEL：052-693-5897 FAX：052-691-7889

E-mail info@aminokai.com  
ホームページ http://www.aminokai.com



または

## 【「認定NPO愛実の会」寄付金のお願い】

郵便振替 □座番号 00850-6-187490  
□座名称 特定非営利活動法人 愛実の会 1□1,000円 何□でも結構です

- ◆ 寄付金（賛助会費・NPO愛実の会の活動に関する費用）
- ◆ 紙風船夢づくり（人形劇制作費、公演活動に関する費用）